

振付家 森下真樹 現代美術家 東芋

の東芋が手がけるダンス作品「錆からでた実」が、24日から27日まで、東京・表参道の青山円形劇場で上演される。1975年11月30日九州生まれ、O型、3姉妹と、驚くほど共通点の多い2人が、相手を鏡のようにして自身を見つめながら作り上げた。(祐成秀樹)

新作上演

共通点多い2人が共作

東芋は、社会を鋭く切り取る毒のあるアニメーション映像が国際的に評価されている。「一つの作品が何か別の世界につながって、その先にあるものを想起させる。私のダンスと通じるものがあると思いました」。

そう語る森下は、端正な容姿で織りなす奇想天外なパフォーマンスが持ち味だ。「森下さんの作品にはダサさが入っている。ダサさって私の作品でも重要。人間の本質が出ていると思う。好きな人と話す時に上手に

を集めて食事会を開くほど親密になった。そのうち森下が共同制作を持ちかける。「東芋さんの発想、思考、センスを借りてダンス作品を作りたいと思った」。互いの役割を固定せず、ゼロの状態から、表現の可能性を探りあった。「相手を

「錆びるっていい意味で使いた。今回は和太鼓兄弟ユニット「は・や・と」と共演する。

「錆びるっていい意味で使いた。今回は和太鼓兄弟ユニット「は・や・と」と共演する。



「簡単にまとめられるキャストはしていません」と語る東芋(前列左)と森下真樹(同右)。後列はきたまり(左)と川村美紀子(右)。

「錆びるっていい意味で使いた。今回は和太鼓兄弟ユニット「は・や・と」と共演する。

フラメンコと和太鼓共演 平富恵が新作 フラメンコの平富恵=写真=



「ムーティ、ヴェルティを語る」 東京・渋谷の文化村オーチャードホタリアの世界的指揮者リッカルド・ルディ作品の魅力語る。